



## 辺野古・大浦湾「ホープスポット」応援署名

2019年10月、辺野古・大浦湾一帯が、生物多様性の豊富さと、それを守ろうとする人々の努力が認められ、日本初の「ホープスポット」(希望の海)に認定されました。対象範囲は、辺野古・大浦湾を中心にした44.5平方キロメートルの海域です。この機会に、辺野古・大浦湾の自然がもつ大きな価値をもう一度見直し、将来の世代に残していくための一歩を進めましょう。

【ホープスポットとは】 世界的な海洋学者であるシルビア・アール博士が率いる米国のNGO ミッションブルーが立ち上げたプロジェクトで、世界約110カ所が認定されています。

### 【 要 望 事 項 】

#### 内閣総理大臣 安倍晋三様

日本政府には工事を一時中止することを求めます。環境アセスメント終了後に明らかになったことについて環境調査を行い、また土砂や砂の調達地など本事業に伴い及ぶ環境への影響を明らかにしてください。

#### 沖縄県知事 玉城デニー様

沖縄県の権限でかけられる保護の網をかけ、世界的に大事な海を守るさらなる一歩を踏み出してください。辺野古・大浦湾では工事による自然破壊が進んでおり、工事実施区域の影響が周囲に及ばないよう保護を強化する必要があります。日本政府が自然破壊を止めない現状では、沖縄県が沖縄県の宝を守るいっそうの努力をすることが必要です。チリビシのアオサンゴ群集、長島の鍾乳洞、大浦川河口などの重要な場所を工事の影響から守ってください。

名前	住所

第一次集約 2020年2月29日

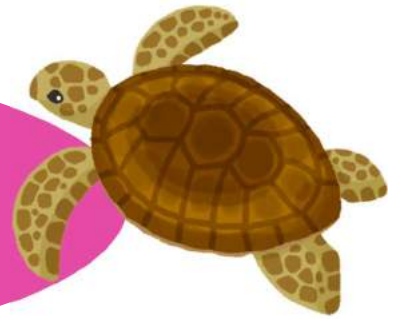
呼びかけ団体：公益財団法人日本自然保護協会（担当・保護部）<https://www.nacsj.or.jp>

集約先〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F tel.03-3553-4101 fax.03-3553-0139

取扱団体（ ） HopeSpot とは&オンライン署名(Change.org)



# 「ホープスポット」 とは？



- ホープスポット（希望の海）は、世界的な海洋学者として名高いシルヴィア・アール博士が率いる米国の環境団体「ミッション・ブルー」が行っている活動です。
- 世界的に重要な海を、ホープスポットとして認定し、保護の網をかけることを、2009年から実施しています。

- ホープスポットの審査は、アール博士はじめ、国際自然保護連合(IUCN)の海洋保護区や公開政策の専門家ら14名の海洋学者が行います。
- 審査のポイントは、その海域に生息する絶滅危惧種、新種、生物の移動など生物多様性に関する情報。文化や観光的な価値、美しさ。教育プロジェクトや科学的研究の有無。政府による保護に関する情報など、多岐に渡ります。
- 世界に誇る十分な価値があることに加え、それを一緒に守っていかうとする地域のサポートがあることも重要なポイントです。



シルヴィア・アール博士

- アール博士は、ナショナルジオグラフィック協会所属の探検家です。ニューヨークタイムズ紙からは「生きる伝説」、雑誌『TIME』からは「惑星の最初の英雄」と呼ばれる探検家かつ海洋学者です。

アメリカ海洋大気庁のチーフサイエンティストをつとめたことがあり、深海の探検と研究のプロジェクトのほか、シルヴィア・アール財団や、ホープスポットの認定を行うミッションブルーなど、海を守る多くの組織を立ち上げました。



今回認定された辺野古・大浦湾のホープスポットの範囲。アオサンゴやジュゴンをはじめ5300種以上の生物が生息している豊かな海であることが評価されました。



- ホープスポットには、世界各地の110カ所以上の海が認定されています。
- バハマのエッグアイランドでは、ディズニー社のクルーズ船の寄港計画を追い出し、二度と開発の計画が来ないようホープスポットに認定されました。ニュージーランドのホープスポットでは、イルカの混獲を防ぐためにパブリックコメントを集めるなどの取り組みを進めています。

